

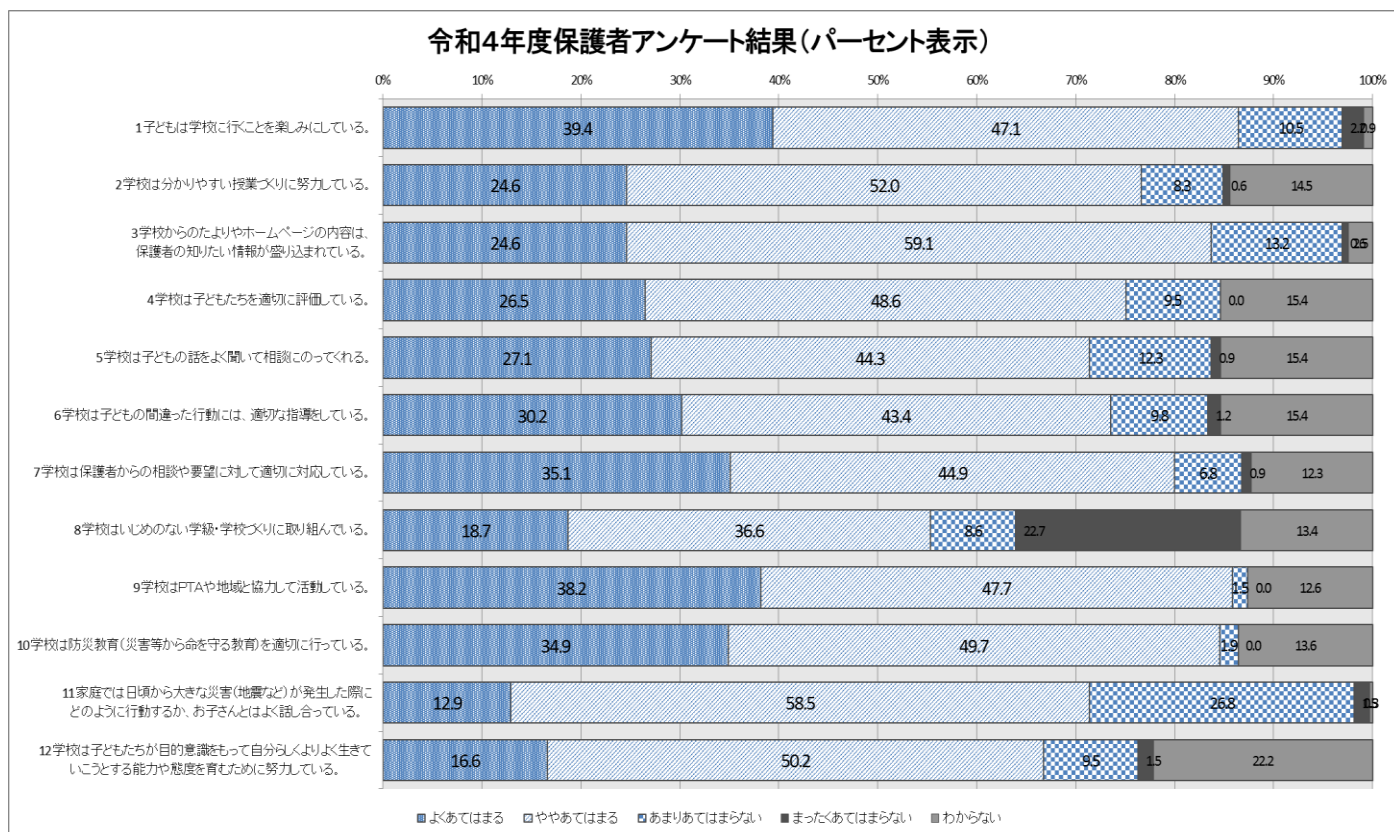
成岩小学校 令和4年度 教育活動アンケート結果のお知らせ

ならわのわ（成岩小学校だより）臨時号 R5.2.8

1. 保護者アンケート

成岩小学校の教育活動についてのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。保護者アンケートの結果は、下のグラフのようになりました。

※回答 325 名



12項目中、5項目で肯定的な評価が80%を超えました。中でもNo.1「学校に行くことを楽しみにしている」の項目は86.5%と最も高く、2番目はNo.9「学校はPTAや地域と協力して活動している」で85.8%、3番目はNo.10「防災教育を適切に行っている」の84.6%でした。「学校に行くことを楽しみにしている」の項目が最もよい評価を得たことについては、大変嬉しく思います。学校は、子どもたちが楽しく安心して生活できる場所であってほしいと考えています。

一方で、最も肯定的な評価が低かったのは、No.8「いじめのない学級・学校づくりに取り組んでいる」の55.3%で、これは他の項目と比べてかなり低い値です。この項目については、否定的な評価が31.5%、「わからない」という回答が14.8%でした。この結果を重く受け止め、全ての子どもたちが安心して生活できる学級・学校づくりを進め、道徳教育や人権教育などに一層力を入れていきたいと思ひます。また、毎月の生活アンケートや学期の一度の教育相談で子どもたちの声に耳を傾け、いじめの早期発見・未然防止に努めてまいります。

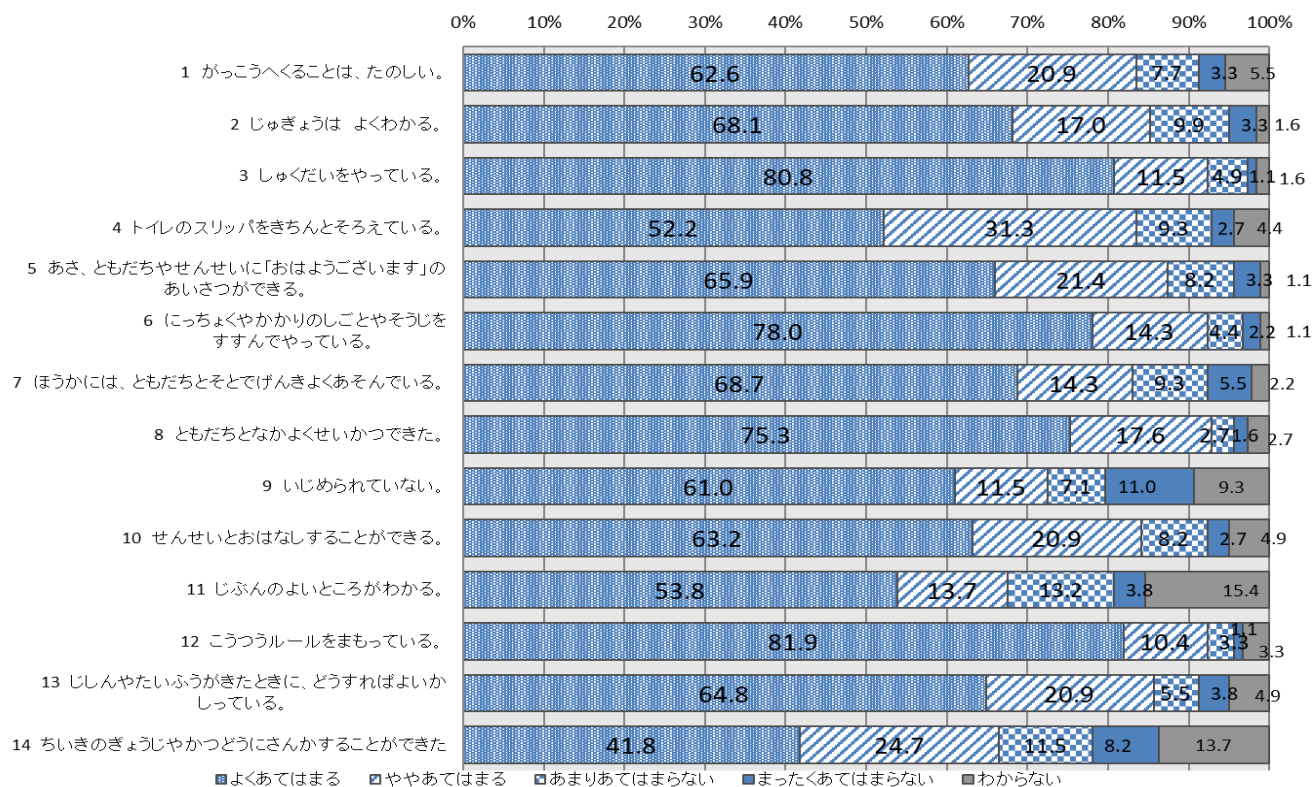
また、No.12「子どもたちが目的意識をもって、自分らしくよりよく生きていこうとする能力や態度を育んでいる」の項目は66.8%で2番目に低い結果で、否定的な評価が11.0%、「わからない」という回答が22.2%でした。本校では、長い間キャリア教育に取り組んできましたが、コロナ禍のため、ここ数年これまで続いてきた教育活動が中止となることが続いていました。しかし、今年度は行事や外部講師を招いての授業などが少しずつ再開できております。子どもたちが自分のよさに気づき、前向きに生きていこうとする意欲を高めるような学習活動をさらに工夫していきたいです。また、その取組の様子をご家庭に伝えられるように各種通信やホームページでの発信に努めてまいります。

2. 児童アンケート

「低学年用」「高学年用」の2種類のアンケートを作成し、各学級で実施しました。

※低学年アンケート：対象1・2年生(170名) ※高学年アンケート：対象3～6年(377名)

令和4年度低学年児童アンケート結果(パーセント表示)



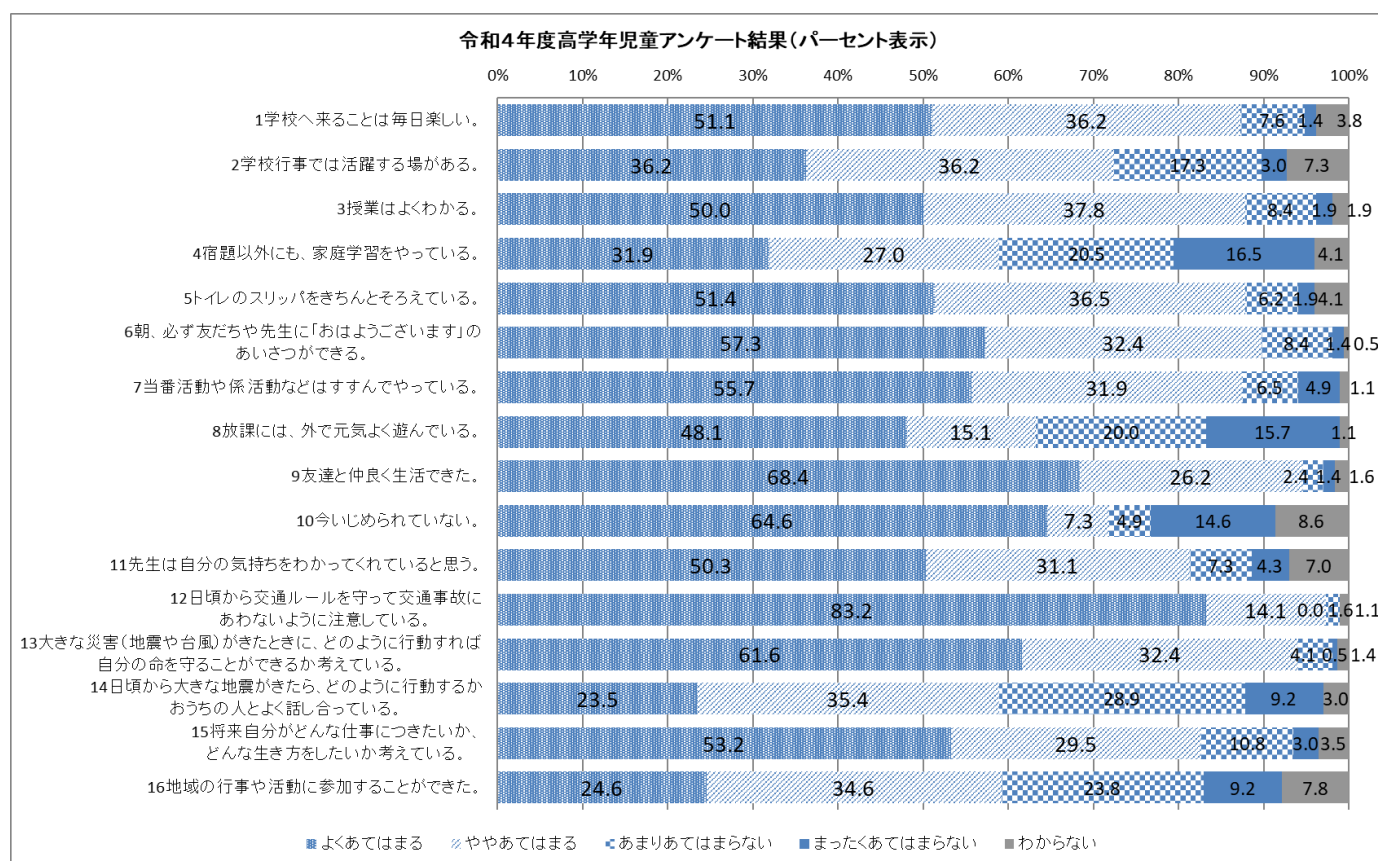
低学年では、14項目中11項目で肯定的な評価が80%を超える結果となりました。最も評価が高かったのは、No.8「友達と仲良く生活できた」の92.9%です。次に高かったのが92.3%でNo.3「宿題をやっている。」No.6「日直や係の仕事やそうじを進んでやっている。」No.12「交通ルールを守っている。」の三つです。

一方で、最も肯定的な評価が低かったのは、No.14「地域の行事や活動に参加することができた」(66.5%)です。次に低いNo.11「自分のよいところがわかる」(67.6%)については、日頃から、担任は子どもたちの自己肯定感を高めることを意識し、教育活動を行っていますが、子ども自身が自分のよさに気づくことができるように、キャリアパスポートの振り返りを活用したり、ペアやグループでの活動などを工夫したりして取り組んでいます。

高学年では、16項目中10項目で肯定的な評価が80%を超える結果となりました。最も評価が高かったのは、No.12の「日頃から交通ルールを守って交通事故にあわないように注意している。」の97.3%です。次に高かったのが94.6%でNo.9「友達と仲良く生活できた。」です。三番目に高かったのは、No.13「大きな災害(地震や台風)がきたときに、どのように行動すれば自分の命を守ることができるか考えている。」で94.1%です。

一方で、最も低かったのは58.9%で、No.4「宿題以外にも、家庭学習をやっている。」とNo.14「日頃から大きな地震がきたら、どのように行動するか、おうちの人とよく話し合っている。」でした。次に低かったのが、No.16「地域の行事や活動に参加することができた」(59.2%)でした。

低学年・高学年ともに、「学校で友達と仲良く生活できていること」、「交通ルールを守ること」、「地震や台風がきたときに、どのように行動すればよいかわっていること」が高い評価でした。「地震や台風がきたときに、どのように行動すればよいかわっていること」については低学年(85.7%)から高学年(94.1%)



1%)で上昇しています。これは3年生の総合的な学習の時間で取り組んでいる防災教育の成果だと考えられます。しかし、高学年では、「日頃から大きな地震がきたら、どのように行動するか、おうちの人とよく話し合っている。」が59.2%でした。ご家庭で緊急時の避難場所や防災リュック等防災について話題にしていたらと学校の学習が生かされます。ご理解とご協力よろしくお願いします。

家庭学習については、低学年では「宿題をやっている」(92.3%)が高学年では「宿題以外にも、家庭学習をやっている。」(58.9%)となっていることから、宿題の習慣はついていますが、それ以外の家庭学習には取り組めていない子が4割程度ということが分かりました。キャリア教育とも関連しますが、自分の将来の目標に向かって取り組むことや興味関心のあることを調べて深めていくなど、主体的な学習者としての子どもたちを保護者・地域の皆様と力を合わせて育てていきたいと考えます。

「地域の行事や活動に参加することができた」は、昨年と比較すると低学年(14.3%増)・高学年(5.1%増)と増加しています。今年は、地域の祭礼やイベントがコロナ対策をしながら再開されたので、子どもたちが参加し始めていることが分かります。地域とともにある本校としても大変うれしく思います。

最後に、低学年・高学年に関係なく、見過ごしてはいけないことがあります。それは、「いじめられている」と感じている児童が低学年で18.1%、高学年で19.5%いたことです。「いじめ」について、学校では「いじめ防止基本方針」を定め、前述した通り、生活アンケートを毎月実施し、毎月の会議で全職員が情報を共有したり、学期に一度「教育相談」を行い、児童が担任と話ができる機会を設けたりしています。学校では、初期段階のいじめであっても、一回限りのいじめであっても、児童が心身の苦痛を感じているのであれば、組織として把握し、見守り、必要に応じて指導し、解決につなげることが重要であると考えています。子どもたちの声や保護者の皆様からの情報等に耳を傾け、いじめの早期発見・早期対応ならびに未然防止に努め、どの子も「楽しい」と思える学校づくりに取り組んでいきます。

今回のアンケートでは、学校や担任への励ましや感謝のお言葉もたくさんいただきました。ありがとうございます。私たちは、成岩小学校の職員としての誇りをもち、職員・保護者相互のチームワークを大切に、子どもたちが生き生きと活動できる学校を目指し、努力していきます。お子様の様子はもちろん、学校で気になることがある場合は、遠慮なくお尋ねください。今後ともご理解とご支援をよろしくお願いいたします。